

平成 26 年台風 19 号に伴う出水と日吉^{ひよし}ダムの防災操作について

淀川水系桂川の水資源機構日吉^{みずしげん きこう ひよし}ダム（南丹市日吉^{なんたんし ひよしちよう}町）流域では、台風 19 号の影響により、10 月 13 日 1 時から 14 日 12 時までの総雨量が 99 mm（ダム流域平均雨量）を記録しました。

この降雨により、ダムへの最大流入量は、毎秒 175 立方メートルとなりました。

この洪水に対して、日吉ダムでは防災操作を実施し、ダム下流の保津橋^{ほつばし}地点の河川水位を、最大約 0.1 メートル低減したものと推定しています。

※防災操作：大雨により、ダムに流れ込む水の一部をダムに一時的にため込んで、ダムから下流に流す量を減らし、下流の川の水位を低減させる操作。

※今回の発表は速報値であり、今後の精査により数値等が変わることがあります。

平成 26 年 10 月 21 日

独立行政法人 水資源機構 日吉ダム管理所

平成26年台風19号に伴う出水と日吉^{ひよし}ダムの防災操作について

台風19号の影響により、淀川水系桂川の日吉ダム（南丹市日吉町）流域では、10月13日20時から21時までの1時間の雨量が最大12mmを記録し、降り始めの10月13日1時から14日12時までの総雨量が99mm（ダム流域平均雨量）に達しました。

この降雨により、ダム流入量が増加し、13日23時57分には洪水量（毎秒150立方メートル）に達したため、防災操作を開始しました。

14日1時34分には流入量が最大（毎秒175立方メートル）となりました。同時刻のダム流下量は毎秒149立方メートルであり、日吉ダムで毎秒26立方メートルの貯留を行い、下流の河川へ流す水量を約1.5割低減しました。

防災操作の概要

	流域平均 総雨量	ダムへの流入量が 最大となった時刻	同時刻における ダムへの流入量	同時刻における ダム流下量	同時刻における ダム貯留量
日吉 ダム	99mm	平成26年10月14日 1時34分	毎秒175m ³	毎秒149m ³	毎秒26m ³

今回の防災操作により、日吉ダムが無い場合と比べ、ダム下流の保津橋^{ほつばし}地点（^{かめおかしほつちようしもなかじま}亀岡市保津町下中島地先）の河川水位を、最大約0.1メートル低減したものと推定されます。

保津橋地点の水位低減効果

保津橋地点の河川水位が 最高水位となった時刻	同時刻における 保津橋地点の河川水位	ダムがなかった場合 の同地点の最高水位	水位低減効果
平成26年10月14日 2時50分	2.63m	2.70m	0.07m

日吉ダムでは、今後も治水・利水の両面でダム管理に万全を期し、ダムの効果が最大限に発現できるよう努めて参ります。

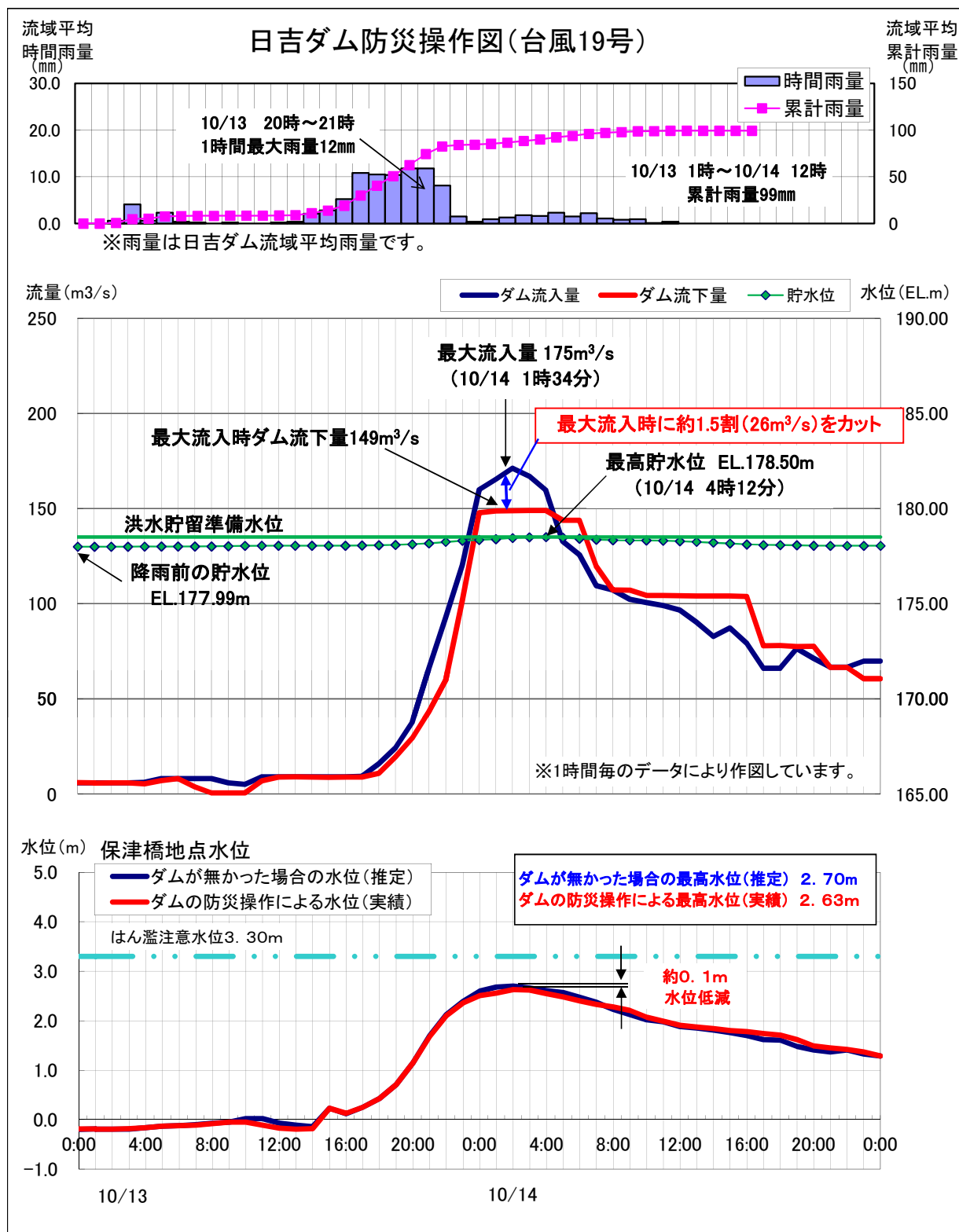
位置図



平成26年台風19号に伴う日吉ダム防災操作について

資料2

・管理開始(平成10年4月)以降27回目、本年4回目の防災操作を実施



管理開始(平成10年4月)以降の主な出水の記録

順位	出水名	総雨量 [mm]	最大流入量 [m ³ /s]	最大流入時の ダム流出量[m ³ /s]	最大流入時の 貯留量[m ³ /s]
1	平成25年 9月 台風18号	345	1,694	148	1,546
2	平成26年 8月 前線	214	1,291	42	1,249
3	平成26年 8月 台風11号	298	913	14	899
23	平成26年10月 台風19号	99	175	149	26

※ 管理開始(平成10年4月)以降の出水で、最大流入量が大い方から3番目までと今回を記載しています。

※ 数値等は速報値であり、今後の精査により変わることがあります。

平成26年台風19号に伴う出水と日吉ダム防災操作について

資料3

- 台風19号の影響により、淀川水系桂川の日吉ダム流域では、1時間雨量で最大12mm、降り始めからの総雨量は99mmを観測しました。この降雨により、ダムへの最大流入量は毎秒175立方メートルを記録しました。
- 日吉ダムでは、最大流入時に毎秒26立方メートルの水をダムに貯留し、下流の河川へ流す水量を約1.5割低減しました。
- 今回の防災操作により、ダム下流の保津橋地点（亀岡市保津町下中島地先）の河川水位を、最大約0.1メートル低減したものと推定されます。



※ 今回の発表は速報値であり、今後の精査により数値等が変わることがあります。